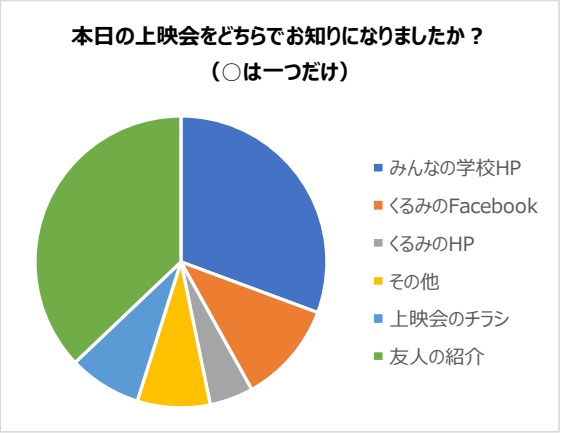
アンケート集計結果

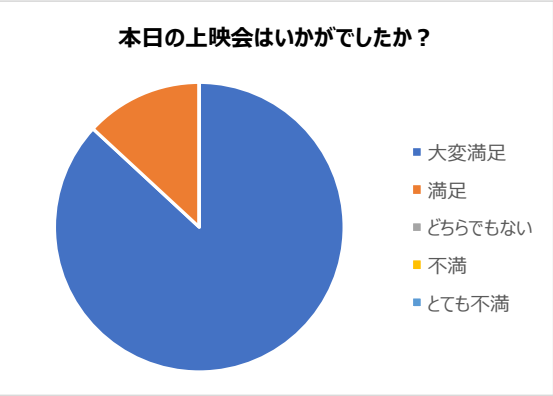
本日の上映会をどちらでお知りになりましたか？（○は一つだけ）

みんなの学校HP	19	31%
くるみのFacebook	7	11%
くるみのHP	3	5%
その他	5	8%
上映会のチラシ	5	8%
友人の紹介	23	37%
	62	



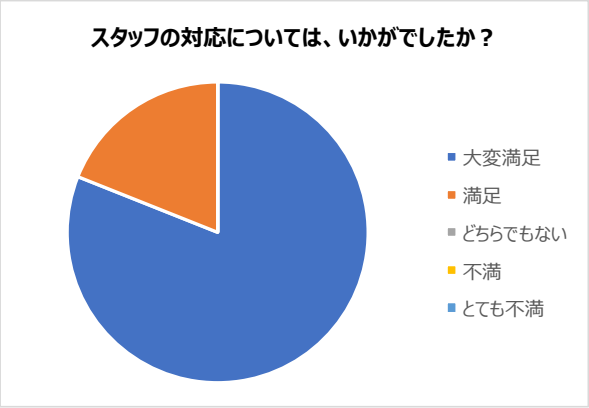
本日の上映会はいかがでしたか？

大変満足	53	87%
満足	8	13%
どちらでもない	0	
不満	0	
とても不満	0	
	61	



スタッフの対応については、いかがでしたか？

大変満足	47	81%
満足	11	19%
どちらでもない	0	
不満	0	
とても不満	0	
	58	



上映会：映画をご覧になって、印象に残ったことを教えてください（1/2）

分けない。一人一人が特別であること。
子どもの内省をする姿。子どもは悪い子なんて一人もいない。とまた信じられる。
周りの環境づくりの大切さ、そして先生方のまっすぐな想い、子どもたちが助け合う様子に心が揺れました。
校長先生の生徒一人一人と向き合っている姿、子供達を比較するのではなく、個人とじっくり話をし、それぞれの気持ちを理解しようとする姿勢に感動しました。
心理的な安全性を担保は、子供でも大人でも重要で、それを作り上げるためのリーダーの覚悟と日々の振る舞いは大切だと痛感しました。
支援級に在籍する我が子ですが、低学年のうちから様々な特性の子達と接しているので多様性の受け入れができていると思います。支援学校の分校も兼ねている環境有もあって、他校より全体的にインクルーシブではある方ですが、コロナで交流活動が減って少し距離ができている感じもあり、歯痒く思うところがあります。
教育には正解がないんだなあということが心に残った。
毎回感じる場所が異なってきます。今現在の”その後”の子どもたちを知りたいです。（一緒に卒業した子供たち全員）
人と人の関係を考えさせられました。
周りが変わると今までいけなかった子が行けるようになったこと。長く続けると地域が変わっていくということ。
マサキくんのケンカの場面が印象に残りました。木村校長の「一瞬は本物」という言葉に考えさせられ、多くのことを学ばさせて頂きました。ありがとうございました。
たくさんあって、頭の中の整理がまだつきません。
人として向き合う
校長先生の子ども達に向ける思いがすごく伝わりました。保育士をしているのですが、子どもたちが就学するにあたり、どの学校もこんな風に子ども達を暖かく見守ってくっださると、子ども達もその子らしく人生を歩めるのかなと思いました。「僕の目標は人を殴りません」の言葉には先生達の頑張りが見えました。
小学校で途切れず、繋がる社会にしたい。
相手の事を思いやる心の大切さを改めて感じました。来年1月より学童保育に携わるヒントになりました。
”認め合う”という言葉の意味が初めてスッと入ってきた気がしました。
学ぶことが多すぎて、頭の整理に時間がかかりそうです。
私もインクルーシブな社会づくりは大切だと思います。ただ、実現できないのが現実です。それを形にしているのは、素晴らしいことだと思いました。
一人一人がお互いに理解し合うことが、学校においても大事だと感じました。いろいろな子をみんなで受け入れる学校になればと思います。
本当に胸が熱くなりました。子供も教師も地域もみんなが育つ場なんだと感じましいた。教員をしていましたが、果たして自分がしてきたことは本当に子どものためになっていたのか考えさせられました。こっどもの力を信じて、自分たちで考えて学校を作っていく、とても大切にしたいことを改めて学ばせて頂きました。
とても胸打つ内容でした。何に感動しているのか、言葉にうまくできません。人と人とが心を開いて、互いに向き合っているということが素晴らしいのだと思いました。
大空小学校のような学校で学び成長した子ども達が増えるといいなーと思いました。自分の子も含め、住み良いインクルーシブな社会に近づいてほしいなと願います。
校長先生の紹介された、雨の日の廊下で先生が滑った時、生徒が先生をずっとさすっていたというエピソードで、生徒達みんなのその子を見る目が変わったからその子が学校に来られるようになった、という部分にグッときました。
現在の効率を求める社会の中では、なかなか居場所が作れない人が増える中、本来教育とはこういうものであるのではと考えさせられました。
安心できる場所が大切なんだと思いました。学校っていいな。
みんな＝自分ということ。信用できる人や安心できる場であることを学校が大切にしていること。
学力テストの時に、校長先生がおっしゃていた能力・自分を伸ばす努力をどれだけしているかが印象に残りました。
涙しかなかった。人と人との本当の気持ち、感情のぶつかり合い（真の）大切さ。ちょっとした言葉がけ、褒めるが心の底から出ているのに涙。
5年前に一回映画を見たが、すっかり内容を忘れていた。人間は本当に忘れてしまう生き物だなと思いました。

大人のあり方が子どもの未来を変えているように感じられたし、子ども達がその子に関わっていく姿が素晴らしかった。
ともに学び合っている姿に日々を反省しました。
カズキ君が大空小学校を卒業したその後が気になりました。この学校での経験を糧に幸せになっているといいなと願います。
1/2成人式で暴力を振るわない、暴言を吐かないと約束した子どもの姿には本当に感動させられました。また、勉強させられました。
みんなが学ぶみんなで作る素晴らしさを学びました。
みた後に清々しい気持ちになりました。カズキ君のその後が気になります。小三の息子が特別支援学級に通っています。支援級の中でも、さまざまな障害や特性があり、支援級の中ですら保護者の交わりはほぼありません。交流級は１クラス40人もおり、落ち着いて安心して過ごすのは難しく、先生の手も足りません。大空小学校のような形は難しいと感じるのが現状です。校長先生の対応や声掛けに学びがたくさんありました。
特別支援学校教員です。インクルーシブ教育について「効率」の面でどうなんだろうという思いがありましたが、考え直すきっかけになりました。
息子がこの学校に通うことができたら、息子がもっと楽しい生活ができただろうと感じました。
障害児に対する虐待、健常教師の自己満足に思える。目標が「暴力暴言」をしないは言わされていますね。傾聴すべき。
障害があるないにかかわらず、自分の話をしっかり聞いて認めてくれる人たちがいることの大切さをとても感じました。映画の中で成長していく子ども達、その後も周りにそういう人たちがいてくれることを願うばかりです。
関わり方が素晴らしいと思いましいた。自分の関わり方を振り返ることができました。
「みんなの学校」は一人一人が作ること、自分一人は力不足だけれど、周りとつながり合ってみんなが幸せになれるようみんなで作っていきたいと思いました。
子どもが心に決めた一瞬一瞬は本物で、それを否定する疑う必要はないということ。
本日は本当にありがとうございました。横浜市の小学校で教務主任をしていますが、このような形で子ども一人一人の話題を全職員で共有しながら一つ一つ丁寧に子供と向き合っていく…、そんな学校を改めて作っていきたいと思いました。どう現場で実際にこのような形で仕事ができるか改めて整理したいです。本当にありがとうございました。
子どもと”集団”の物差しで見ず、一人一人を理解しようと関わっていく環境を作っていく大切さを感じた。周りの子供達の行動に感動した。
自分の学校と違って面白かった。
本を読んで、その後こちらの上映会を知りました。自分にできることは何か、考えるきっかけになりました。
勉強になった。共感するところも取り入れたいところもいっぱいあった。理想の一つ。でも違和感もあった（1/2成人式、校長中心の経営・・・）、学ぶところはいっぱいあるが、でも評価は色々な視点からのものがないと難しい。
地域の人に障害を持った息子を理解してもらうことが大切だと思いました。
学校も社会もみんなで作ることを改めて考えることができました。
一人一人を大切にする姿勢に感動しました。校長先生の強い思い、バイタリティに励まされました。
こちらにも大空小学校みたいな学校があったらと思いました。
とても素敵でした。たくさんの学校がこうであってほしいと覆いました。先生の笑顔に力をもらいました。
こういう言葉を私も校長Tに言ってもらいたかったと思う言葉がたくさんありました。同時に現場は本当に大変そう。学校任せでなく地域で保護者同士で関わることが大事と改めて感じた。
誰もがお互いに関心をもって暮らせるような社会にしていきたいと思いました。
人との出会いは大切だと改めて感じました。認めて受け入れてくれる場所がたくさんできるといいなと思います。
念願かなってこの映画を観れてよかったです。ありがとうございました。
学校はみんなで作っていく。周りが変われば地域も変わる。
自分の子も一年生で学校がストレスで通うのが大変でした。私は周りの子に理解してもらいたいと思っていましたが先生は平等を気にしていて無理なのかとか思っていましたが、周りの子の理解が大切と言うことが間違っていないことがわかったこともあり、クラスメイトや先生の関わり方がとても印象的でした。
子どもたちの成長には粘り強い大人の存在が必要だ。大人が諦めてはいけない。一人一人の生徒を見守るのが教育の原点。逞しい大人や親が大切！

上映会：映画をご覧になって、印象に残ったことを教えてください（2/2）

インクルーシブを【も】目指すのはありだと思う。そもそも別学/共学の双方があるはず。口達者な校長は片方の選択肢しか示していない。しかも誘導的説明をしている。 障がい児の自己決定権を保証したい。砂遊びを止めさせる場面があったが、特別支援校では豊富な教員リソースがあるため、そもそも全員一律ただ一つを目指す「学級運営」など存在しない。砂遊びの「見守り」に入る運用も可能だろう。また、意見対立するような「健常児」も無ければ、謝罪させられるような価値観の「社会」とも隔絶されている。そもそも、意見対立の際には話を聞くのが基本であろう。自己主張力が弱いであろう障がい児であればなおさら。 ところで、障がいのタイプは違うが、養護学校（当時）から東大教授になったという人も居る。(私の２つ上の同窓生)。健常児が「医者になりたい」と同様に、障がい児にも夢を語らせるべき。「暴力を振るわない」などと言わせるのは公開懺悔、公開処刑にしか見えなかった。Ｂ級同級生としてのインクルーシブであれば危険です。と思わせるようであれば、脚本作成に障がい者が関与して居ないのでしょう。 また、成人して、オッサンオバサンになって、「良い小学校時代であった」と思えるか、思えないか？ちなみに私自身は、健常児（小児喘息で休み勝ちであった。時として、特別学級行くか？という言葉イジメすら教員から受けた）でしたが、特別学級で学んだらそれはそれで違う人生であったのかも？とさえも思います。
それぞれがそれぞれの気持ちを話した中、災害ボランティアの方の言われたことを今も思い出します。 卒業式でみんなは将来何になりたいかを発表するのに、あの男の子は「けんかをしない。・・・・」 そう言えば、彼は言葉を絞り出すように発表していたなと。 親子の関係、親の経済状況など障がいだけでない事情があるでしょう。 それでも人にとって出会う人の影響は大きく、信用できる人がひとりでもいると自信が持てます。 もう一つ、お母さんの支援が必要なことを痛感しました。 私は子供はいませんが、子どもに障がいがあったり、不登校になった時、 調べたり周囲に相談できる人はいいが、お母さん一人で抱え込み思い込んでしまうと 行き詰まっていいことはありません。そういうお母さんの居場所って、どうしたらいいのかなと。
私は、当事者でも当事者家族でもなく、障害児者施設保育士等を経て、ベビーシッターとして障害を持たれたお子様のサポートをさせていただいたり、グループホームのサビ管、ヘルパーとして、今試行錯誤しております。 そして、子育てを終えた今、自分の今後を考えた時に当事者のご父兄の方は、どんな思で自分の老後を迎えられるのかな？ ご家族みなさんが幸せに生きてほしいと言う思いを持ち、長年いろいろな方と関わらせていただき、インクルーシブなシェアハウス…いや町ができないかな？と夢を勝手に描いております。誰しも同じ人間、そして障害とは言え、素晴らしい五感をお待ちの方ばかり。 それぞれの得意を活かせる！場が理想的だな！と思います。

上映会：くるみという団体について、感じたことがあれば教えてください

NPOを立ち上げ、人と繋がる行動力に感動しました。
みんながありのままの自分で生活できる社会実現のために動いていることを知り、私も教育について考えていこう（自分事として）と思いました。
初めて参加させていただきました。何らかの形で今後も参加させていただきたいと思いました。
”混ぜこぜ”という言葉にとても共感できました。障害者という言葉はあまり好きではないのですが、支援が必要である方がいる事は理解をしています。幅広く活動を広げて戴きたく思います。
ずっと見たい映画でした。何度も見逃していたのですが、この場を設けて頂き、有難うございます！！
とてもスバラシイと感じています。今後も継続することを期待します。
優しい。確固たる理念としっかりした運営力を持った団体だなと思いました。
くるみさんの目指す社会の実現を考えた際、さまざまなイベントにおいて誰でも参加できる場がもっとあればいいなと思いました。
活動参加のハードルが低く設定されていて、掲げられている「インクルーシブ」を少しでも感じることができました。
素敵な映画をありがとうございました。活動の様子をHPなどで見てみます。
皆様のスバラシイ「子供目線」の活動を参考にし、地方で自分ができる活動をしてまいります。今日はありがとうございました。
素晴らしいです！勉強していきたい、私にもできることが考え行動していきたいです。
私たちもインクルーシブな社会作りを目指します。くるみさんを良き先達として感じております。
暖かい雰囲気がとても素敵です。皆さんの活動が誰かの力になっているということが感じられます。
社会の中で誰もが、安心して生きていくことの大切さを伝えられていて、素敵な団体だと思います。みんなの学校を研修や人権教育として学校で公開してほしいです。
信念に賛同します。多様な社会にするために、私も何か行動していきたいです。考えます。ありがとうございました。
とても素晴らしい団体で応援したいです。どうしても日頃の仕事が忙しく、うまく関われていませんが、くるみのイベントにまず参加することから始めたいと思います。
上映会について知るまでは、団体のことは知らなかったのですが、活発に活動されているんだなと感じました。機会があったら参加してみたいです。
30年後の地域の雰囲気を変えるという目標のために具体的に活動されていて応援したいと思いました。
自らの住む地域でもぜひあってほしいし、参加したいと思いました。子ども二人ASDでなかなかそういった場がないので。
インクルーシブな活動をぶれずに続けてほしいです。
誰にとっても必要な場かと思いました。貴重な映画を上映いただきありがとうございました。
ありのままを認め合う、そんな社会・くるみさんの活動自体が社会で広がればと思いました。
もっと世の中に広めて全国に作ってほしいと思う。
マスクの下に笑顔が溢れる暖かい団体だと感じました。
まだ正直よくわかりませんが、こういう活動をされていらっしゃる方がいて本当にありがたいと感じます。

平間でのイベントなどに参加してみたい。
活動されている皆様に敬意を表するとともに、ぜひ一緒にインクルーシブな世界を実現したいと思います。
コロナ禍での運営大変っだと思います。胸を打つ時間をいただきましてありがとうございました。
さまざまな活動をされていて、興味を持ちました。このような上映の機会を設けて頂き、ありがとうございました。
遠方なので、なかなかお手伝いできませんが、活動をチェックさせて頂きます。
まだわかりません。B級市民としてのインクルーシブと尊厳ある暮らし方は別なのかなと思います。
障害のある方を理解したい、関わりたいと思っていてもなかなかその機会がないのが現状です。その架け橋になるべく、これからも活動していただけたらと思います。
近くにこのような団体があると知ることができてうれしかったです。何かできることがあればいいと思っています。
このような機会を作って頂きありがとうございました。地域に根ざした安心した社会を作るために頑張ってください。
今の世の中で本当に必要なことに気づかせてくれるステキな取り組みをしている団体と感じました。
学校の職員は数年で異動します。地域はずうっと続きます。このような形でもっともっと地域の力が発揮され、学校と一緒になって子供一人一人を育てていきたい、そう思います。
このような場が多く生まれるといいと思います。そして知らない人にも知ってほしいです。
さまざまな取り組みありがとうございます。無理のないように続けていただければと思います。
これからもよろしくお願いします。地域にとって大切な場です。
またイベントがあったら参加したいです。これからもよろしくお願いいたします。
障害のある家族は本当に大変だと思います。でも本人が一番…互いに支え合える（心で）が力になりますよね。
それぞれの立場でできることをする。本当にそう思います。インクルーシヴも始まったばかりという印象ですが、少しずつがんばって欲しいです。
何かやりたいと思ってもなかなか簡単ではないのでぜひ続けてもらいたいです。小学校の先生に観てもらいたいと強く思いました。応援しています。
人の人生は平等で一度きりですが、その一度に信念や思いやりを込めた生き方は個人にとっても社会にとっても大切だと思います。思いをもって生きる。
・運営に障がい者、教員や有識者は入って居るのだろうか？との疑問が湧きました。 ・つい、「寄付募集」と言う欲が出てしまいましたね。NPO法人であればこそ、会員募集もあるかと思います ・運営上の都合等で、会員を障がい児家族等の条件付与しているのであれば、その条件が正当か不当かという論点でしょう ・NPO法人というもの、会員（社員）によるガバナンスと解釈されますが、会員（社員）が理事長一任を決意していると言う「人治」タイプのNPO法人もありますね。 ・カレーを食べる会も有効なのですが、お話をする「茶話会」も有効かとも私は思います。少なくとも、私はもう少し皆様とお話したいと思いました。

茶話会：最後の一言感想

参加者より

・頭の中がぐるぐるで、何を言っていいのかわからない
・ひとりひとり自分ごととしてできること、当事者意識を持ってやっていきたい。
・近いけれど壁がある社会。インクルーシブを勉強し、壁のないところにミュージカルを広めていきたい。
・映画は見ておらず、茶話会から参加した。皆さんからインクルーシブの話を聴いた。児童福祉施設の職員なので職場での支援に活かしたい。
・映画を見せていただき、このような学校があっていいなと思った。支えていける側になりたい
・自分の息子が２人当事者。上の子は中学で居場所がなく不登校。こういう場が広がればいいなと思う。
・両親が障害者施設で働いていて、小さいころから障害者と接してきた。一歩外に出れば障害者に対して理解がない。このような場が広がればいいと思う。
・デイサービスで働いている。本人がやりたいことを伸ばしていきたいし、できないことをできるようにしたい。大空小学校の卒業生がどうなっているか知りたい。
・災害ボランティアをやっている。映画を見て辛かった。インクルーシブありきで、自分の意見を出せない辛さを感じた。健常者のインクルーシブだと思った。
・放ディ、保育士、障害者施設、ヘルパーを経験してきたが思ったような支援ができない。今はベビーシッターとして障害児に携わっている。今日の映画は涙涙だった。あの子たち「自分がこうしたい」を引き出すつもりが、いつしか「自分がこうしたい」が出てしまっていたことに気付いた。
・学校はいいなと思った。子供は成長していく。遠くから見てあげる大人が増えていく必要性を感じた。
・障害者施設で働いている。先生も生徒も地域の人も親のフラットな状態で成り立っている学校はいいなと思った。
・支援員である。学校に居場所があることが良いと思った。
・今日誘われて５年ぶりに映画を見た。当事者と接する機会がない。接することに対しての恐怖心がバリアになっている。そのバリアは自分自身が作っていると思った。
・保育士である。子供がかわいい。抱きしめたくなった。障害があるとかないとか関係ない。いろいろ考えさせられた。微力だけど無力ではない。自分のできることをやっていく。
・小学校教師、心理士。息子が発達障害。困った子ではなく困っている子。他者理解を考えようと思う。
・保育士。これから生きていく子供たちが１日１個でも素敵だなと思うことがあればと思う。幸せが広がる世の中であってほしい。
・映画の場面について否定的な意見の方がいたが、私も同感。夢が語れたらいいなと思った。そんな意見を言い合えて、受け止めあえる社会がインクルーシブなのでは。
・２人の子供が発達障害。「半径５メートル」から伝えたい。自分の趣味の音楽をやってみたいと思う。
・オランダではインクルーシブが当たり前。いろいろな視点があると気づくことが大切。
・半径５メートルを合言葉に。その先からまた５メートル。ゆるゆると広めていきたい。

スタッフより

・上映会だけでなく茶話会も盛況、やってよかった。映画への反対意見のおかげで新たな気付きや学びがあるインクルーシブな場となった。みなさんに感謝。「半径５メートル」「微力だけど無力じゃない」が自分なりのキーワード。
・映画は3回目だが、新鮮でとても楽しかった。一番良かったのは、茶話会を行えたこと。こういう語り合える機会はいいなと。ダメな生徒がいるわけじゃなくて、ダメな先生がいる。それだけなんだと再認識。
・映画は4回目。何回見ても生徒の立場を想像したりして新たな学びある。インクルーシブを実現することが難しい世の中なんだな、とも実感。そんな中、自分がどうしていきたいか？答えがすぐでるわけじゃないけど、ゆっくり考えていきたい。茶話会がとてもいい時間でＧｏｏｄ！
・観るたびに色んな気付き。茶話会、私もすごくよかった。他の方のご意見で元気をもらえた。
・初対面同士でどんな場になるかな？と思っていたが、ファシリテーターの活躍もあり活発な茶話会になってよかった。
・正直な感想。久々にくるみの活動に参加できて幸せだった。社会人になり、仕事をしている。くるみで学んだことをまた仕事で活かしたい。映像（作品）も作れるようになりたい。
・子供がインクルーシヴ幼稚園に通っている。親である自分がいかに子についてオープンでいられるか？が大事。隠したり、言いたがらない方もいるが、それでは理解が進まない。そこをやり続けることで、自分の成長にもつなげていきたい。先生は本当に頑張ってくれているので、親である自分もがんばりたい。
・久しぶりのスタッフ参加。大役だったが、グループトーク盛り上がって良かった。
・過去に300人規模の上映会もやっており、今回は80人弱とお客様の人数は多くなかったが、茶話会も企画したため多くの手間をかけてきた。時間をかけて丁寧に作り込めたことが成功に結び付いた。ファシリテーター・書記・スタッフ参加のみなさんに心から感謝。
・みなさんのように意識が高いわけではなく、土日にできるボランティア「何かないかな？」と探していたことがきっかけでくるみに参加。「流しそうめん」、「ピザづくり」。いいなぁ！今回も参加できてよかった。今後も楽しみながら、ゆるやかにつながり、お役に立てることがあればうれしい。
・小学校教員になりたいので、観られてとても良かった。通っている地域活動の場で引っかかっていたことがあった。今日の映画を観て勇気をもらった。今後に活かしていこうと思う。
・息子とスタッフ参加。今日を無事迎えられたことがありがたい。スタッフの方のチームワークが良く、スムーズな運営でとてもよかった。
・神奈川県でインクルーシヴ教育に取り組んでいるが、課題が多くある。大人の側の意識改革がまず必要。自分の持ち場で取り組んでいきたい。
・茶話会への参加、最初は不安があったが、みなさん話聞いて下さり、とても良い場となった。
・保育スタッフ。茶話会でくるみ以外の人と映画を通じて思いを共有できて貴重な機会。自分事として捉えられるようになりたい。
・去年は参加者。今年はご縁頂けてここに居られてのが幸せ。障害あるわが子についての自己開示に改めて取り組んでいきたい。